

桜川の水害対策強化を 国へ直接要望

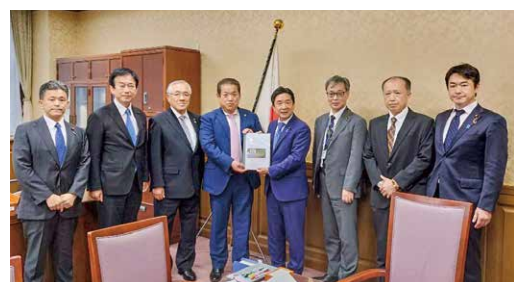
■問合せ／建設課 (☎ 58-5111-753111代表)



こやり国土交通大臣政務官（左から4番目）に要望書を手渡す大塚市長

桜川流域自治体（桜川市、筑西市、土浦市、つくば市）で構成される桜川改修期成同盟会が、10月20日、県選出国議員とともに国土交通省および財務省を訪問し、桜川改修を直接訴えました。

当日、国土交通省では、こやり隆史国土交通大臣政務官と廣瀬昌由水管理・国土保全局長に、また財務省では、瀬戸隆一財務大臣政務官に要望書を手渡しました。



瀬戸財務大臣政務官（右から4番目）に要望書を手渡す大塚市長

山口地区の鏡ヶ池が源流の桜川は、筑西市、つくば市、土浦市の水田地帯や市街地を経て霞ヶ浦へ注いでいる一級河川です。当河川は、継続して整備が進められています。が、未だ護岸未整備区間があり、線状降水帯などによる被害が懸念されています。

同会では、未整備区間の整備を進め、流下能力の向上など水害対策の強化・促進を早期に実現できるように取り組んでいきます。

全国学校給食甲子園決勝大会 桜川市学校給食センターが 出場決定

■問合せ／学校給食センター (☎ 0296-588310)



ペアとして大会に出場する渡邊栄養教諭（左）と森調理員（右）

学校給食日本一を競う第18回全国学校給食甲子園（21世紀構想研究会主催）の決勝大会に、桜川市学校給食センターの出場が決定しました。

全国から応募された1,079件の献立の中から、渡邊栄養教諭が応募した献立が関東ブロック代表に選出。

12月10日（日）に女子栄養大学駒込キャンパス（東京都）で開催される決勝大会での調理コンテストで、森仁美調理員と実際に調理を行います。

調理コンテストの様子は、ライブ配信されます。応援よろしく願います。



<応募献立>



地元や県の食材の美味しさを伝えたく、地場産物を活用した韓国料理を考案しました。

チーズタッカルビには、つくば鶏のほか、筑西市産の梨が入った「筑西きむち」や、生産量全国2位のさつまいもを使用。スープは、桜川市産の大豆を市内で加工した豆腐のほか、県のブランド豚であるキングポーク、県産トマトやきくらげを使用し、生産量全国1位の卵でとじました。

そのほか、豊富な地場産物を積極的に用いて地産地消を意識した献立に仕上げました。



大塚市長にオレンジリボンを寄贈する深谷賢一副会長

茨城県児童福祉施設協議会（大谷恭久会長）から、子ども虐待防止活動に役立ててほしいと、オレンジリボンの寄贈がありました。



稲川教育長に手縫いの雑巾を手渡す桜川市女性団体連絡会の皆さん

桜川市女性団体連絡会（市村あき子会長）から、市内の小・義務教育学校で使用してほしいと、手縫いの雑巾500枚の寄贈がありました。

寄付
寄贈